

- 1: 目標を大幅に下回ってしまった。
- 2: 目標をやや下回ってしまった。
- 3: おおむね目標通りに達成された。
- 4: 目標をやや上回る実績が得られた。
- 5: 目標を大幅に上回る実績が得られた。

## 第2次船橋市文化振興基本方針 進捗管理シート

No.	事業名	担当課	最も該当する基本目標	最も該当する施策	関連する基本目標	関連する施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和5年度目標	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実施予定	令和5年度決算額(千円)	令和6年度予算額(千円)	令和5年度目標達成度	備考		
1	船橋市出張美術展	文化課	I 気づき始まる	施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築			平成29年度の船橋小学校での開催を機に、市内の公民館や学校、文化施設を会場とし、市所蔵の美術品を紹介する展覧会「船橋市出張美術展」を実施している。	市内の公民館や学校、文化施設を会場とし、市所蔵の美術品を紹介する展覧会「船橋市出張美術展」を実施する。												
	地域ふれあいコンサート	文化課	I 気づき始まる	施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供			平成6年に船橋市総合体育館の開催記念事業として、市内の音楽団体が中心となって実施した「千人の音楽祭」を核に、平成7年度から、市民の身近な場所で良質な音楽を提供する「地域ふれあいコンサート」、アマチュア(社会人)ビッグバンドの祭典である「ビッグバンド船橋」などホール主催事業を取りまとめ、「ふなばし音楽フェスティバル」として開催している。 「音楽でまちを元気に!」を合言葉に多くの市民に音楽を楽しむ機会を提供するとともに、音楽団体・演奏家と市民との交流を促進し、本市の音楽文化の振興に寄与する。	地域住民で組織された実行委員が、市民に最も身近な施設である公民館等を会場に、気軽に音楽の生演奏を楽しめるようコンサートを開催します。 船橋ゆかりや若手の音楽家たちの演奏機会の創出するとともに、プロの演奏家による上質な音楽の鑑賞機会を市民に提供することで、音楽文化のすそ野を広げます。 開催時期: 1月下旬～3月上旬 会場: 市内公民館等												
	船橋市所蔵作品展	文化課	I 気づき始まる	施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供			平成13(2001)年に「清川記念館取戻展」を開催して以来、平成19(2007)年までに4回、平成21(2009)年に「船橋市所蔵作品展」と改めてからは毎年市所蔵美術品を紹介している。 その中で、平成27年度に(財)吉澤野球博物館から野球資料と共に美術品が寄贈されたことから、教育委員会主催事業として、市民ギャラリーで開催している所蔵作品展に加え、西図書館ギャラリーを会場とする企画展を開催することとなった。	市が所蔵する美術品を活用し、市民が身近な場所で美術鑑賞ができるよう、企画展を開催する。 また、展覧会の関連事業として、市民対象の美術講座や公開フォーラムなどを行い、所蔵品や船橋の文化状況に対する理解を促す機会とする。 開催時期: 7月頃 会場: 西図書館2Fギャラリー												
	船橋市文化活動普及事業	文化課	I 気づき始まる	施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供			平成27年度に吉澤野球博物館より文化の発展のために寄付された現金預金を原資とする船橋市文化振興基金を設置。基金の運用益と市予算と併せて子どもたちが身近な場所で質の高い文化・芸術の鑑賞・体験機会を提供することを目的として平成28年度から開始。 事業実施にあたり、アーティスト及び専門家を事前に公募し、書類審査と専門家による意見を参考に派遣講師名簿である「アーティストバンク」に登録し、学校からのオファーに基づき事業を実施する。	子供たちが身近な場所で文化活動に触れる機会を提供し、豊かな心や創造性を育む。 事業対象: 市内の市立小・中・高等学校及び特別支援学校 開催数: 年10校程度												
5	文化イベント情報紙「BUNBUN Funabashi.」	文化課及び各文化施設	I 気づき始まる	施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築			文化振興基本方針で掲げている重点プロジェクトの一端として、市内の文化施設がそれぞれ発信していた情報をまとめ、よりわかりやすい情報紙を作成する。	市内の各文化施設が発信していた情報をひとつにまとめたWeb版フリーペーパー「BUNBUN Funabashi.」を年6回発行する。	市	主催	ホームページ閲覧件数: 月500件	ホームページ閲覧件数: 月1073件 2カ月に1度のペースで発行。市内文化施設に若干枚紙媒体で配布した。令和2年度に引き続き、イベントカレンダー形式ではなく、各施設ごとのイベント案内とした。	ホームページ閲覧件数 【月500件】	レイアウトを変更し、年4回の季刊発行をに変更予定。	0円	0円	5			
6	地域の生涯学習情報の収集と発信	社会教育課	I 気づき始まる	施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築			船橋市等が行っている、市民を対象とした生涯学習機会の情報を知る手だてがなかった為、平成11年度以来、社会教育課でとりまとめ1冊の冊子にまとめている。	行政が実施する生涯学習事業に加え、地域の大学や企業が実施する事業の情報を積極的に収集し、発信していきます。また、市民の更なる生涯学習事業の利用・参加を促進するため、情報を発信でき、かつ、市民が手軽に生涯学習情報を検索できるアプリケーション等の構築について検討していきます。			事業掲載数 【2,350事業】	【決算額 0円】 【指標値実績 1,191事業】 第64号(令和3年4月～7月) 352事業掲載 第65号(令和3年8月～11月) 421事業掲載 第66号(令和3年12月～3月) 418事業掲載								
7	船橋市役所 特案係	商工振興課	I 気づき始まる	施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築			平成26年度より、観光客誘致のため、YouTubeでドラマ仕立ての動画を制作し、公開している。動画で扱う観光資源は多様で、史跡、伝統芸能、鉄道網の充実などの他、市民の音楽活動が盛んであるという船橋の文化的特徴も紹介していくことになった。	市の観光PRドラマとして、船橋が誇るモノ・コトを紹介していく事業であり、住んでいると気づかない地元の良さや観光資源の掘り起しを行っていくものである。			動画再生回数									
8	ふなばしロケーションズ「ふなばしロケーションズ」	商工振興課	I 気づき始まる	施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築			これまで各施設が行ってきた撮影対応を広報課に一元化して平成27年5月に事業開始し、同時にWEBサイトを設置した。令和3年度から、「ロケーションガイド ふなばし撮おらんせ!」から、ふなばしロケーションズ「ふなばし」に事業名を変更した。	船橋市内にある様々な魅力的なロケーションを活用し、テレビドラマや映画等の撮影に提供することで、シビックプライドを醸成するとともに、施設を有効活用し、当該施設に関わる市職員や市民のモチベーションを高めることを目的とする。			利用件数 【26件】	【決算額 0円】 【指標値実績 32件】 日本テレビ『THE突破ファイル』、BS-TBS『氷室想介の事件簿』などの撮影支援を行った。								
9	魅力発信サイトFUNABASHI Style	広報課	I 気づき始まる	施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築			平成28年3月のホームページ再構築に伴い、既存の市ホームページに混在していた、船橋の魅力を生内外に発信するコンテンツのみを独立させ、新ホームページを設置した。	「食べる」「見る」「遊ぶ」等の船橋の魅力を生内外に発信する。			市の情報をホームページで入手している人の割合(市民意識調査)【18%】	【決算額 0円】 【指標値実績 27.0%】 「取手西貝塚 国史跡指定」や「船橋のキウイ」など船橋の魅力を生32記事作成し、公開した。								
10	ロビーコンサート	文化課	I 気づき始まる	施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供			平成5年3月、船橋吹奏楽団の木管五重奏が全日本アンサンブルコンテスト(社団法人全日本吹奏楽連盟主催)で金賞を受賞し、市役所ロビー(現在の美術コーナー)で記念コンサートを開催したことがきっかけとなり、同年7月から始まった。 100回記念となった平成14年12月には、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のコンサートマスター本庄篤子さんを迎え、ピアノ三重奏曲を演奏していただいた。平成19年6月には150回を迎え、平成24年1月には第200回、平成28年7月に第250回を実施した。	歴の思い出のひとときに、市民及び市職員にさわやかな音楽と安らぎを提供するとともに、音楽の生演奏に触れることによって音楽文化に関心を持ってもらう機会とするため、月に1回(8月を除く)、市役所1階ロビーで質の高い音楽の演奏会を実施します。			アンケートの満足度 【90%以上】	【決算額 340,737円】 【指標値実績 97.5%】 開催日: 毎月第3水曜日(8月を除く) 開催回数: 10回 出演者数: 10組 16人 観覧者数: 493人 特記事項: 9月のロビーコンサートがコロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となったことにより、出演者謝礼や調律代が減額となった。								

- 1: 目標を大幅に下回ってしまった。
- 2: 目標をやや下回ってしまった。
- 3: おおむね目標通りに達成できた。
- 4: 目標をやや上回る実績が得られた。
- 5: 目標を大幅に上回る実績が得られた。

## 第2次船橋市文化振興基本方針 進捗管理シート

No.	事業名	担当課	最も該当する基本目標	最も該当する施策	関連する基本目標	関連する施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和5年度目標	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実施予定	令和5年度決算額(千円)	令和6年度予算額(千円)	令和5年度目標達成度	備考
11	市民ギャラリー・茶華道センター主催事業	文化課 【指定管理者： （公財） 船橋市文化・スポーツ公社】	I 気づき始める	施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供			市民の文化芸術に対する理解を深め、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことを目的として開催する。また、普段茶華道センターに来る機会のない人にも、茶華道センターに立ち寄りやすいと企画した。	各種教室事業の実施 （華道の世界・茶道の世界・子供茶道教室・囲碁入門教室・日本舞踊子供教室・外国人対象日本伝統文化体験教室・カジュアル茶道・書道教室） ①華道の世界は、初心者から経験者までを対象として、四季折々の花材を使いながら華道の基礎から応用までの技術の習得を目指す。 ②茶道の世界は各流派の立ち居振る舞いや茶の点て方など実践的な作法の習得を目指す。 ③囲碁入門教室は、囲碁未経験者を対象に、囲碁の楽しさを教える。 ④日本舞踊子供教室は、小中学生を対象に礼儀作法から始まり古典音楽に合わせて手足の動作などを実践的な技術の習得を目指す。 ⑤子供茶道教室（ハッピーサタデー事業）は、小中学生を対象に、楽しいお稽古から日本文化の素晴らしさ・大切さを学び、また礼儀作法についても習得させることを目的とする。			①～⑦ 教室参加者延べ人数 【3,000人】  ⑧ 観客数 【1開催100人】	①～⑦ 【決算額 4,056,950円】 【指標値実績 1,897人】 ①令和3年4月から令和3年9月まで、令和3年10月から令和4年2月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数606名 ②令和3年4月から令和3年9月まで、令和3年10月から令和4年3月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数889名 ③令和3年8月3回開催。参加者数9名 ④令和3年6月～12月までの土曜日 全10回。参加者数72名 ⑤令和3年6月～令和4年3月までの第3土曜日 全10回。参加者数142名 ⑥令和3年度はコロナウイルス対策のため中止 ⑦令和3年4月～令和4年2月の1月を除く毎月第2金曜日 全11回の計画で、4回実施。参加者数179名 ⑧ 【決算額 68,000円】						
12	市民文化ホール主催事業	市民文化ホール	I 気づき始める	施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供			市民文化ホールは、市民が優れた文化芸術を享受できる機会を提供することを経営方針としており、開催時よりさまざまなジャンルの質の高い公演の開催に努めている。 また、例年事業テーマを選定し、多彩な事業と併せて年度ごとに特色のある事業も展開している。	様々なジャンルの質の高い公演を実施するとともに、市民がアーティストと直接共演する場や学ぶ機会を提供する。										
13	市民文化創造館（きららホール）主催事業	市民文化創造館（きららホール）	I 気づき始める	施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供			市民文化創造館は、市民が優れた文化芸術を享受できる機会を提供することを経営方針としており、開催時よりさまざまなジャンルの質の高い公演の開催に努めている。 また、例年事業テーマを選定し、多彩な事業と併せて年度ごとに特色のある事業も展開している。	様々なジャンルの質の高い公演を実施するとともに、市民がアーティストと直接共演する場や学ぶ機会を提供する。										
14	ふなばし市民活動フェア	市民協働課	I 気づき始める	施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供			市民活動団体が日々の活動内容を紹介することにより、これからボランティア活動を始めたい人が、市内の市民活動団体について知ることができ、きりかけを提供するイベントとして、平成20年度より開催している。	地域へ第一歩を踏み出そうとする方々などに対して、市民活動やボランティア活動など様々な社会貢献活動に参画するきりかけの場を提供するためのイベントを実施している。			当日来場者数 【600人】	【決算額 357,700円】 【指標値実績 動画再生回数2,670回】 第13回ふなばし市民活動フェア ネットでつなぐ市民の輪～ ・開催日時 令和3年12月1日（水）～12日（日） ・参加団体数 45団体 ・内容 市民活動団体によるパネル展示、PR動画等の公開、そのほかオンライン企画 など						
15	船橋市バーチャル美術館	文化課	I 気づき始める	施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供			令和2年度、新型コロナウイルス感染症が流行し、「新しい生活様式」下で、市民が自宅にいながら文化・芸術体験ができる機会を提供するため、展覧会場を360度カメラで撮影した映像などを掲載した市の美術専用サイト「バーチャル美術館」を開設した。	令和2年度市所蔵作品展「精典雄と清川コレクション」の展覧会場を360度カメラで撮影し、音声ガイドや船橋市デジタルミュージアムと連携させた作品の高精細画像を掲載した「バーチャル展示室」をはじめ、市取蔵作家の紹介動画や展覧会情報など市の美術作品や活動に関する情報をインターネット上で公開し、コンテンツの充実を図っている。			アクセス件数 【年5000件】							
16	食育推進事業	保健所地域保健課	I 気づき始める	施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供			食育推進事業の一環である食文化の継承、食に関する知識の啓発を目的として令和2年度1月より市ホームページ「ふなばしの食育」内で公開開始。 令和4年度3月分より郷土資料館との連携によるデジタルサイネージでの掲示、カレンダーの配布を行っている。	食育推進事業は、乳幼児から成人、高齢者に至るまで食に対する関心と理解を深め、一人ひとりが自分自身で健康を守り、食の大切さを知ることが目的に啓発を行う事業である。行事食カレンダーは食育推進事業の一環として、各月の行事を記載したカレンダーとともに、ひなまつり、端午の節句、十五夜といった日本の伝統的な行事及び行事食について紹介し、食文化の継承や、食に関する知識の啓発を図っている。			ホームページ閲覧件数 【年3500件】	【決算額 0円】 【指標値実績 3614件】 行事食カレンダーを市ホームページ「ふなばしの食育」内で公開した。						
17	船橋市文学賞/文学講座	文化課	II 学び楽しむ	施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備			市民の日常的な文学活動の活性化を通して、豊かな市民生活の創造に資することを目的とし、昭和63年に創設。	船橋市における文芸活動の振興を図るため、小説・児童文学・詩・短歌・俳句の各部門の作品を公募し、特に優れた作品を選定（文学賞、佳作を選考）する。また、授賞式と懇談会を開催して選考と受賞者の交流の場を設けており、文学賞、佳作を受賞した作品は、「船橋市文学賞作品集」として編集し、有償頒布している。 船橋市文学賞選考により、一部門ごとに毎年度、講座（講話）を実施し、船橋市文学賞への募集への一助としている。			応募作品数 【150作品】	【決算額 2,491,821円】 【指標値実績 148作品】 【応募期間】 6月15日(火)～9月30日(木) 【応募作品】 148作品（小説39、児童文学28、詩44、短歌17、俳句20） 【受賞】 文学賞4 佳作13  ②文学講座（詩部門：中谷順子氏） 【開催日】6月3日、10日、17日(木) 14時～16時 【会場】中央公民館 【参加人数】20名						
18	各種芸術文化事業の主催及び共催	文化課	II 学び楽しむ	施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備			昭和53年争・三絃・尺八の愛好家により、邦楽の普及を目的として船橋市三曲協会が結成され、以後毎年三曲祭を開催している。（平成29年度第40回） また、共催事業として、伝統文化を身近に感じてもらうため公民館にて争・三絃・尺八による芸術劇場を実施。	伝統的な邦楽器として最も一般的な楽器である争・三絃（三味線）・尺八からなる三曲を市民が鑑賞し親しんでもらうとともに、愛好者に発表の場を設けることで芸術文化の振興に寄与する。			来場者数 【300人】	【決算額 0円】 【指標値実績 0】 令和3年6月6日（日曜日） 13時30分開演～17時15分終演 新型コロナウイルスの感染拡大防止の理由により、中止となった。						
19	ふなばし市民まつり	商工振興課	II 学び楽しむ	施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備			昭和43年度より産業まつりを「市内の商業、工業、農業の優秀な生産品と観光の現況を広く市民に紹介し、市民の協力と理解を得ながら実施されていくものであり、これらの産業の確進ぶりを広く紹介し、商品販路を広げ、産業の振興を図り、併せて市民生活を向上させていくものとして」開催するようになった。平成15年度より名称を「市民まつり」として市民主体を目指し、開催された。	「さまざまな産業がいきいきするまち・ふなばし」で学び、働き、暮らす人たちが力を合わせ、皆で『まつり』をつくり、参加することにより「活気とにぎわい」のあふれるふるさと・ふなばしを実現するため、ふなばし市民まつりを開催する。			来場者数 【733,000人】	【決算額 円】 【指標値実績 -】 東京2020オリンピック・パラリンピック開催が令和2年度から令和3年度に延期し、賞品の配置や賞備品の確保が難しく、ふなばし市民まつりを安全に開催するための十分な体制を整えられないことや、時期を変更して開催するとしても、市内各地域の行事との調整、施設の確保等が困難であることに加え、新型コロナウイルスの感染が拡大している影響により中止した。						
20	ふなばし三番瀬クリーンアップ	環境政策課	II 学び楽しむ	施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備			三番瀬の清掃と自然観察会等を市民・事業者・市民団体・行政とが協働して行うことにより、三番瀬に対する関心と理解を深め、もって三番瀬の保全を図る事を目的として平成13年より開催している。	市民・市民団体・事業者・行政が協働により、毎年10月中旬～下旬に、ふなばし三番瀬海浜公園前の砂浜の清掃活動を行う。また、日本大学生産工学部によるマイクロプラスチック調査や、小学生を対象に募集した絵画の展示、参加団体が企画するイベントも併せて実施している。			参加者数【800人】	【決算額 190,747円】 【指標値実績 466人】 【開催日】10月23日（土） 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止したため、2年ぶりの開催となったが、参加者数は令和元年度と比べ約250人減少した。						



- 1: 目標を大幅に下回ってしまった。
- 2: 目標をやや下回ってしまった。
- 3: おおむね目標通りに達成された。
- 4: 目標をやや上回る実績が得られた。
- 5: 目標を大幅に上回る実績が得られた。

## 第2次船橋市文化振興基本方針 進捗管理シート

No.	事業名	担当課	最も該当する基本目標	最も該当する施策	関連する基本目標	関連する施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和5年度目標	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実施予定	令和5年度決算額(千円)	令和6年度予算額(千円)	令和5年度目標達成度	備考	
29	ハッピーサタデー事業	青少年課	Ⅲ育みつながる	施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実			完全学校5日制実施に伴い、自宅で過ごす子供たちの活動場所の提供として事業が始まる。	原則毎月第3土曜日を「ふなばしハッピーサタデー」の日として、市内26公民館が地域の団体、町会・自治会、学校と連携を図りながら、子供たちがスポーツや文化活動に親しむことを目的に、様々な事業を実施している。			【12回以上】	【決算額 2,025,633円】 【指標値実績 5202人】 開催回数：198回 特記事項：新型コロナウイルスの感染拡大の防止に努めながら事業を実施したため、令和2年度に比べ事業参加者事業数が大幅に増加した。							
30	楽器貸与事業	指導課	Ⅲ育みつながる	施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実			「創意と工夫ある教育」「特色ある学校づくり」の一環として、昭和56年度より開始した。貸与年数9年を経た楽器については指導課備品から学校備品へ保管転換を行っていたが、平成28年度からは保管転換をせず指導課備品として扱うこととなった。	音楽科の授業を基盤として、一層充実した音楽活動を展開することにより、音楽部員のみならず、全校児童生徒の音楽環境の向上を図る。また、「創意と工夫ある教育」「特色ある学校づくり」の一環として、地域や学校行事の中で、生活に根ざした音楽活動を展開することによって、児童生徒に学校生活の楽しさを味わわせ、情操の涵養を図る。平成30年度の貸与楽器数は75台であり、今までに2058台の貸与ができてい			貸与希望校数に対する貸与率【100%】	【決算額 0円】 【指標値実績 0%】 コロナ禍等で財政状況が大変厳しく、予算が付かなかったため、今後を見据え、修繕して使用できるようになる楽器を活用できるよう、令和3年度は市内全校の楽器の過不足数と楽器の状況の調査を行った。							
31	造形作品展	指導課	Ⅲ育みつながる	施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実			絵画を中心とした平面作品は、巡回展、夢・アート展等で発表していたが、立体作品の発表の場がなかった。中学校美術部会では、独自に中学校美術科作品展を勤労市民センター等で開催していた。平成5年2月に船橋市民ギャラリーがオープンしたのをきっかけに、小中学校合同の造形作品展となった。平成6年度、小中学校が統一した展覧会名「船橋市小・中・養護学校造形作品展—子供たちの色・形・夢—」として行った。	絵画作品を中心とした展示や発表の場は各種コンクールを中心に極めて多いが、立体的な発表の場は少ないことから、立体造形の表現力の育成も重視していなければならない。そこで、市内小・中・特別支援学校の児童生徒の立体作品の展示の場を設け、立体作品の教材や題材についての研究の機会とする。また、児童生徒の造形意欲や鑑賞力の向上を目指すしながら、船橋市の図画工作・美術教育の一層の充実を図っていく。			来場者数【7,500人】	【決算額 0円】 【指標値実績 0人】							
32	夢・アート展	指導課	Ⅲ育みつながる	施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実			船橋市内の公立小・中・特別支援学校の児童生徒が、図工・美術の授業の中で取り組んだ代表作品(各学校6～8点)を展示する。この催しは、昭和40年代の「小・中学校写生会・巡回展」を発展させたものであり、平成5年度に現在の名称「夢・アート展」に変更し、平成11年度まで「船橋市民ギャラリー」で開催。平成12年度からは、会場を「アンデルセン公園子ども美術館」に移し開催。	児童生徒の夢や願いを多様な平面作品に表すことを通じて、豊かな情操を養うとともに創造的表現力の伸長を図る。 各校の作品展と夢・アート展を通して、児童生徒の鑑賞力の向上と指導者の作品評価及び指導法の改善に資する。			来場者数【5,000人】	【決算額 211,569円】 【指標値実績 4,982人】  令和3年7月22日～8月5日で開催した。							
33	小・中学校音楽教育合唱委託事業	指導課	Ⅲ育みつながる	施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実			小中学校合唱発表会は令和元年度で第33回を迎える。昭和62年から発表会の中でブコの合唱団による鑑賞会を実施している。	ブコの演奏の鑑賞の機会を設けることにより、その素晴らしさを感じさせ、情操教育の充実を図る。			公演数【30分公演×2回】	【決算額 0円】 【指標値実績 評価不能】 新型コロナウイルス感染症対策で小中学校合唱発表会を中止としたため。							
34	学校音楽鑑賞事業	指導課	Ⅲ育みつながる	施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実			昭和58年度から実施している。開催費用の1/3は県の補助を受け、2/3を市の負担で支出している。保護者の負担はない。平成15年より文化課から指導課の事業となった。	小中学生の情操の涵養を図るため、優れた音楽を鑑賞する機会を提供し、もって芸術活動への参加の気運を醸成する。			実施校数【9校】	【決算額 4,736,000円】 【指標値実績 8公演(8校)】 プロのオーケストラである千葉交響楽団を各学校に招き演奏していただくことで、音楽の楽しさ、素晴らしさ、楽器の知識・理解を深めることにつなげることができた。なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により9校中1校から辞退の申し入れがあった。							
35	小・中・特別支援学校書写展覧会	指導課	Ⅲ育みつながる	施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実			千教研書写部会・中学校国語部会の協力を得て、各学校において校内書写展覧会を実施した上で、各学校の各学年1点(小学校6点、中学校3点、特別支援学校9点)の書写作品を、市民ギャラリーにおいて展示している。・小学校1・2年生は硬筆作品、3年以上、及び中学校が毛筆の作品、原則として、授業で学習した教材が望ましいとしている。平成10年度から18年度まで総合教育センターで行っていたが、平成19年度より市民ギャラリーを会場としている。	国語科書写指導の一環として展覧会を行い、書写に対する意欲の高揚と技術の向上を図る。			来場者数【2,000人】	【決算額 371,629円】 【指標値実績 約1,565名】 開催日：令和4年1月18日(火)～1月23日(日) 会場：船橋市民ギャラリー 来場者：1,565人 感染症拡大予防対策を講じた上で、通常開催することができた。							
36	船橋市文化活動指導員派遣事業	指導課	Ⅲ育みつながる	施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実			国が平成29年4月に部活動指導員の制度化を行い、その後、県のモデル事業を経て、各市町村での実施が可能となった。船橋市では、平成31年度から運動部活動指導員の派遣を、令和2年度から文化活動指導員の派遣を開始した。	中学校の文化活動に所屬している生徒への専門的な指導や教職員の働き方改革を行うため、学校教育法施行規則第78条の2に基づき「中学校におけるスポーツ、文化科学等に関する教育活動(学校の教育課程として行われるものを除く)に係る技術的な指導に従事する」部活動指導員を学校の職員として配置する。			派遣指導員数【10人】 中学校数の3/1以上	【決算額 1,347,167円】 【指標値実績 9名】 コロナ禍で、部活動の制限がある中、指導員の派遣人数や勤務時間を増やすことができた。  配置校・人数(部活動名) ・宮本中学校・2人(管弦楽部・琴曲部) ・海神中学校・3人(吹奏楽部・合唱部、華道部) ・三山中学校・1人(吹奏楽部) ・若松中学校・1人(吹奏楽部) ・前原中学校・1人(管弦楽部) ・飯山浦中学校・1人(合唱部)							
37	文化団体意見交換会	文化課	Ⅲ育みつながる	施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持つための構築			平成28年度に「文化振興基本方針」の策定にあたり、市民より意見を聴取するため、「子供・青少年に対する取組」をテーマに社会教育関係団体に登録のある文化団体による意見交換会が開催された。そこで、各団体の情報の共有や意見交換の場が必要であるとの共通認識を持ったことから、継続的に文化団体の意見交換会を実施し、文化振興の体制づくりを推進することとした。	意見交換会を通じて、文化団体間の連携・協力を推進し、市民が主体となって本市の文化振興を回す一助とする。			参加団体数【25団体】	【決算額 0円】 【指標値実績 10団体】 出席者 16名 開催日時 令和3年7月20日(火) 開催場所 船橋市役所11階 大会議室							
38	学習成果の活用支援	社会教育課	Ⅲ育みつながる	施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持つための構築			自主的に「何かを学びたい、体験したい」と思っている人と、自分の技能や知識をボランティアとして生かしたいと思っている人などを結び付け、生涯学習の機会を増加させるため、平成13年度より開始した。	サークル活動や講座受講などで学んだことを実際に活かしたり、自分もつ技能や知識を活かしたいと思っている人と、学びたいと思っている人などを結び、学び合いを促進する仕組みの構築について検討していきます。			登録者数【65人】	【決算額 0円】 【指標値実績 53人】 講座実施件数 1件 講座参加人数 5人							



